

機関誌「なでしこ」は尼崎市内各地域で青少年の健全育成を見守る少年補導委員による情報誌です。  
「なでしこ」の花言葉は「注意する・さとす」です。  
子どもの頭を撫でながらさとしてもらいたいという願いをこめています。

発行：尼崎市少年補導委員連絡協議会  
事務局：尼崎市教育委員会事務局社会教育課  
青少年愛護担当  
【所在地】尼崎市三反田町1丁目1-1  
【電話】06-6423-8501

## 補導委員のみなさんへ!!

平素は少年補導活動にご尽力いただき、ありがとうございます。日々、青少年を有害な環境から守り、健やかに育て、非行に走らないよう、問題行動の早期発見・早期指導に取り組んでいただき、感謝の念に堪えません。

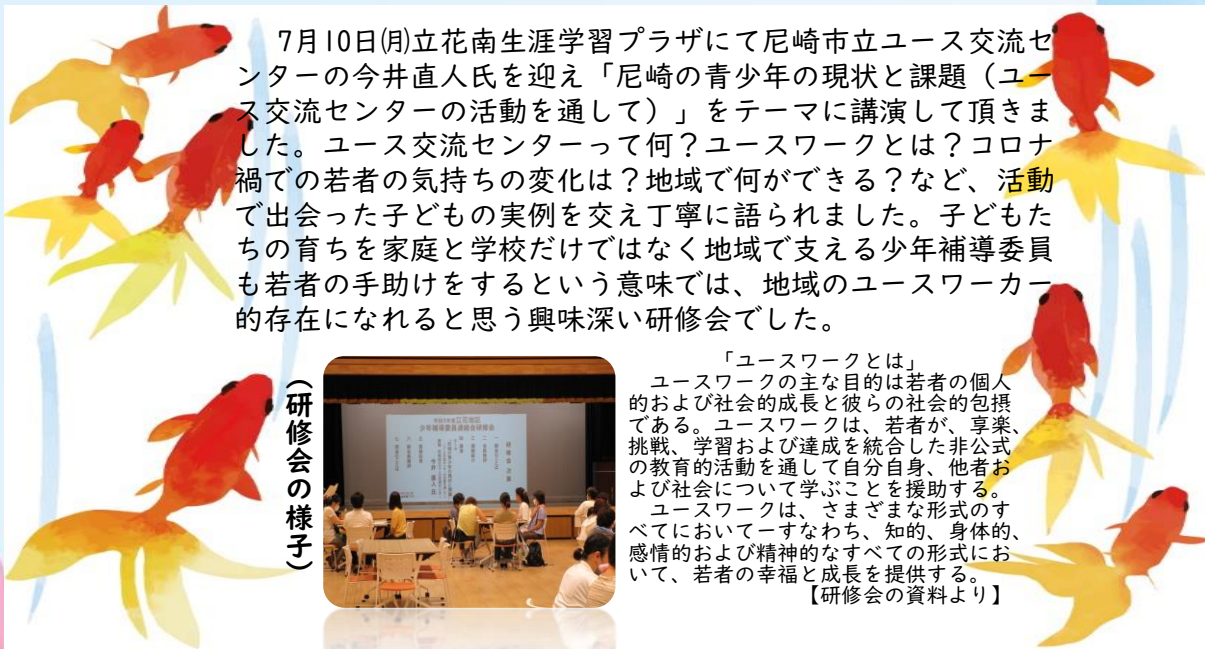
さて、この数年、新型コロナウイルス感染症の流行が拡大するにつれ、公園で遊ぶ子ども達の姿を見かけることが少なくなりました。夏休みも同様でした。令和5年の夏休みはどうでしょうか。

夏休み期間は、子どもとの出会いが多くなる時期です。ぜひ、この夏休み期間中に、ひとりでも多くの青少年に声かけをしていただけたらと思います。

「あなたたちを見守っていますよ」という安心感、お互いに「顔見知り」という親愛感を感じさせていただけたらと思います。地域の子も達との繋がりを強めるために、地域で守り育むという熱意をもって青少年に接していただけたらと思います。「仲よく遊んでるねえ。」「この遊びはどんなところが楽しいの?」「休憩しながら遊ぼうね。」さりげない言葉で寄り添っていただけたらと思います。

補導委員の皆様の健康と安全が何より大切です。厳しい暑さが続きます。「疲れる前の休憩」を心掛けていただき、この夏もどうぞよろしくお祈りします。  
(青少年愛護担当)


## 立花地区少年補導委員連絡会 研修会が行われました。



7月10日(月)立花南生涯学習プラザにて尼崎市立ユース交流センターの今井直人氏を迎え「尼崎の青少年の現状と課題(ユース交流センターの活動を通して)」をテーマに講演して頂きました。ユース交流センターって何?ユースワークとは?コロナ禍での若者の気持ちの変化は?地域で何ができる?など、活動で出会った子どもの実例を交え丁寧に語られました。子どもたちの育ちを家庭と学校だけではなく地域で支える少年補導委員も若者の手助けをするという意味では、地域のユースワーカー的存在になれると思う興味深い研修会でした。

「ユースワークとは」  
ユースワークの主な目的は若者の個人的および社会的成長と彼らの社会的包摂である。ユースワークは、若者が、娯楽、挑戦、学習および達成を統合した非公式の教育的活動を通して自分自身、他者および社会について学ぶことを援助する。  
ユースワークは、さまざまな形式のすべてにおいて一すなわち、知的、身体的、感情的および精神的なすべての形式において、若者の幸福と成長を提供する。  
【研修会の資料より】

(研修会の様子)



### 【☆☆各地区的活動報告書より☆☆】

下校時、低学年の子どもたちが、自分の行きたい方向しか見ておらず、ヒヤツとすることがありますので、声かけ注意をしていきます。(中央)

6/11(日)夜店が行われた公園でゴミが散乱していました。その対策として6/21(水)の巡回時には、ゴミ箱が多数配置されていました。(小田)

公園の沿道に発砲スチロール製の板が不法投棄されていました。(大庄)

部活動の一環で、子どもたちが、地域の清掃をしていました。「駅周辺では「おはようございます。」と声をかけながら活動していましたが、通行中の大人は挨拶を返していないのが残念でした。(立花)

公園の生垣が切られすっきりしていました。(武庫)

公園で、子どもがたくさん遊んでいますが、カラスがたくさんいて子どもたちが怖がっていました。(園田)

# ～各地区の活動状況～

## 中央地区

今年度からは、各学校で保護者の観覧もできるようになった体育大会や文化祭などが行われており、学校からは元気な声が聞こえていますが、少年補導委員で巡回していても登下校以外で子ども達を見掛ける機会は、ほとんどないままです。

夏休み中は、神社の夏祭りや盆踊りに地藏盆などがあり、子ども達と関わり触れ合う機会も増えるので、引き続き班のみんなで巡回を通して地域の子も達を大切に想っています。

## 小田地区

酷暑の夏、熱中症指数が高く危険な季節がやってきました。夏休み子どもたちは、公園等で遊ぶ機会が増えてきます。遊ぶ事に熱中して持参していたゲーム等を自転車の前かごに置いたままで、置き引きや紛失の事案も発生しています。子どもたちの身の周りの危険を「愛の一声運動」で回避できれば幸いです。

## 大庄地区

地区内の公園で低学年の女子児童にお菓子を買って与えたり、髪の毛を触る等の若い男性がいるとの情報が入りました。

近隣の小学校も情報入手して、警察に通報し、パトカーで巡回してもらう等の対応をしてくれています。補導委員の見回り、パトロールの際も注意して見守ってもらうようにしています。

## 立花地区

夏休みを控え、各地で学校・PTAとの懇談会が開催されました。A中学校では色々なルールを生徒と先生が協議して決め、1年生必須のクラブ活動を廃止、校区外への外出も自己責任で許可されているそうです。また、B小学校では交通ルールやアライグマの出没に対する注意喚起など再度確認を依頼。日々の巡回では得られない情報を共有できる貴重な機会を持ってました。

## 武庫地区

武庫地区少年補導委員連絡会研修会を6月20日に行いました。

尼崎少年サポートセンターより小村所長をお招きし、「尼崎の子ども達の現状と課題」をテーマにお話を拝聴しました。

講演内容は、サポートセンターの活動、少年非行の現状、警察における補導の手順など大変貴重なお話でした。日々の見守り活動に活かしたいと思います。

## 園田地区

私たちが住む園田地区は、川に囲まれた自然豊かな場所です。川には魚がたくさんおり、それを求めて野鳥も数多くいます。水辺には簡単に入ることができ、大人が一緒の場合は良いのですが、子どもだけのときもあります。これから夏休みに入り、水の事故が起きないように、河川敷を中心にパトロールしていこうと思います。

## コラム

園田地区は、農村の風景が広がり、色々な野生動物が棲みやすい環境です。アライグマ、イタチ、カラス、カルガモ等と話題に事欠きません。今の時期は、カラスによる果樹や野菜の食害が深刻です。食べごろがわかるのでしょうか。色々な対策がされていますが、昔ながらの案山子を見かけると心が和みます。頭のいいカラスは、なかなか手ごわいですが、これからも「知恵比べ」です。

## 編集後記

ジメジメとした梅雨も終わり、長い夏休みが始まりました。コロナ禍も落ち着き、夏祭り等の祭礼も盛んに行われるようになりました。

さて、8月号の「なでしこ」では、地区研修会及び各地区の少年補導委員についての様子を紹介させていただきました。地域や学校の方々と協力して子ども達の健やかな成長のために活動してまいります。

